

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

平成 26 年度 通常総会議事録

1. 日時：平成 26 年 5 月 31 日(土) 午後 1 時 30 分～2 時 43 分

2. 会場：サプリ村野南館 2 階 環境保全研修室

3. 正会員数：130 名

4. 出席者数：75 名（本人出席 30 名、委任状出席 23 名、議決権行使書出席 22 名）

5. 議題

第 1 号議案 役員選任に関する件

第 2 号議案 平成 25 年度事業報告書案承認の件

第 3 号議案 平成 25 年度活動計算書案承認の件

第 4 号議案 平成 26 年度事業計画書案承認の件

第 5 号議案 平成 26 年度活動予算書案承認の件

6. 議事経過及び結果

(1) 事務局が本日の通常総会は定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。

(2) 司会者の末岡妙子氏から議長の選任につき諮ったところ、満場一致をもって伊丹均氏を議長に選任した。

(3) 議長が、議事録作成人に事務局、議事録署名人に竹島健次氏及び丸井晶子氏を指名し、諮ったところ、満場一致をもって同意がなされた。

(4) 第 1 号議案「役員選任に関する件」

理事会は上記議案を上程した。議案について、丸井理事より、議案書発送後に 2 名の候補者よりそれぞれ変更及び退任の申し出があったため、下記修正案を提示し、役員選任に関して、全役員の任期が本総会を以って満了となり、それに伴い理事改選を行う旨等を説明した。その後この修正案を含め、議長が承認を全員に諮ったところ、意見・質問があり、質疑応答の後、全員異議無く修正原案どおり承認可決した。なお、下記の者が役員に選任され、全員その就任を承諾した。

<修正案>

修正前		修正後	
理事候補者名	所属	理事候補者名	所属
田中 隆夫	北大阪商工会議所 中小企業相談所 所長	谷本 雅洋	北大阪商工会議所 中小企業相談所 相談所長
監事候補者名	所属	監事候補者名	所属
稲田 増光	市民		退任

<理事>

伊丹均、市山二郎、井上祥子、植田奈保美、阿充知彦、上武康宏、末岡妙子、竹島健次、田邊弘和、田中晃、谷本雅洋、谷口興紀、谷崎利男、豊高勝、藤田伸行、増本勝久、丸井晶子、

<監事>

重村篤也

※質疑応答概要

金只 氏：活動の主体はボランティアであるが、理事は活動をどうサポートしているのか、理事はどのような仕事を担っているのか。理事会と運営委員会、各部会の役割分担について聞かせてもらいたい。

また、理事のほとんどが再任であるが、推薦基準を聞かせてほしい。

丸井理事：理事会は総会に議案を上程するという役割があると共に、総会で承認された計画・予算について適正に執行されているか見守り、検証する役割を担っている。運営委員会には、総会で承認された計画を執行するという役割があり、具体的に実践・実施の役割を担っているのが各部会である。また、役員のリ任が多い点については、事業の流れや経緯をよく知っている方になっていただくのが当法人としては望ましいという考えからである。しかし、固定化すると組織として停滞してしまうので、メンバーの補充等について、運営委員会でも折に触れ議題にあげ検討している。

(5)第2号議案「成25年度事業報告書案承認の件」及び第3号議案「平成25年度活動計算書案承認の件」

理事会は上記議案を上程し、第2号議案について末岡妙子理事が、第3号議案について丸井晶子理事がそれぞれ説明をした。また稲田監事による監査が4月24日に行われ問題がなかったことを報告した上で、議長が承認を全員に諮ったところ、意見・質問があり、質疑応答の後、全員異議無く原案どおり承認可決した。

※質疑応答概要

田村 氏：収入の大部分を枚方市からの補助金や委託費に頼っているという印象をもつ。昨年度、丸井理事から収益事業は難しいという話があったが、現実問題として、財政的に独立しないと、法人としての真の独立性が担保できない。当法人は、行政からの要請でできた法人であるため、つながりが強いことは認識しているが、来期については、今年1年の収益事業についての見解をのべてほしい。

丸井理事：法人の活動は、市からの補助金と委託費だけに頼っているのではない。総予算約700万円のうち、補助金は200万円弱、市からの委託事業費は約200万円である。他の事業収入は、民間からである。また、収益事業の可能性については論議を重ねてきたが、環境啓発活動を主体にしている当法人のような団体においては、本当に難しいのが現実である。しかし、引き続き目的とうまく整合性がとれつつ収益に結びつくものを検討していく。何かいいアイデアがあれば、いつでも提案していただきたい。

金只 氏：印刷製本費の実績でマイナスとなるのはおかしいのではないか。

丸井理事：印刷費は、昨年払い過ぎて返金されたものである。

金只 氏：当法人における監査は、会計だけでなく事業全般についての監査も行うことになっていると思うが、業務執行状況についての監査報告も文書でなくてもいいので行ってほしい。

丸井理事：ご意見として受け止めさせていただく。

(6) 第4号議案「平成26年度活動計画の件」及び第5号議案「平成26年度活動予算案承認の件」

理事会は上記議案を上程し、第4号議案について末岡妙子理事が、第5号議案について丸井晶子理事がそれぞれ説明をし、議長が承認を全員に諮ったところ、意見・質問があり、質疑応答の後、全員異議無く原案どおり承認可決した。

※質疑応答概要

金只 氏：1点目、報告書に書いてあることは、実際行っていることに相違ないが、国の環境月間等の政策と連動しているのか。2点目、枚方市の環境基本計画のどの部分とつながっているのかなどとの関係がわからない。3点目、当法人は、ほとんどがボランティア会員であり、知識経験はもっているが知識は古く、時間はあるが、体力がない。そういう我々にどういう役割を期待しているのか。

丸井理事：1点目については、発足当初は、きちんと説明していたが、最近それを割愛していることは反省点である。6月の節電コンテストや7月の

ライトダウンキャンペーンなどは国の政策と連動している。今後は、丁寧の説明していく。2点目については、環境基本計画の施策の中で「何ができるか」「何をしたいか」という話し合いを行い「できること」「したいこと」に取り組んでいる。部会内でも是非そういった話し合いをしていただきたい。3点目については、協働という枠組みの中で、それぞれができることをできる範囲で、共に環境施策に取り組んでいただきたい。

議長は、他緊急を要する議案がない事を確認し、以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した（午後2時43分）。

上記の議事の要領および結果を明確にするために、議長ならびに議事録署名人2名が次に記名押印する。

平成26年5月31日

議長 伊丹 均 ⑩

議事録署名人 丸井 晶子 ⑩

議事録署名人 竹島 健次 ⑩

理事長 伊丹 均 ⑩